平成30年度子育て応援プラン実施状況

基本目標1

子育ち・子育てを応援する制度の充実
～家庭の子育ち・子育てを応援するまちづくり～

施策番号	施策の方向性	施策としての到達度（外部要因も含めた総合的な評価）目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	相談・支援体制の拡充	■	□	□	□
②	在宅育児応援サービスの継続	■	□	□	□
③	子育ての経済的負担の軽減	■	□	□	□
④	地域子育て支援拠点の充実	■	□	□	□
⑤	教育・保育事業の充実	■	□	□	□

【主な事業内容】

◎（事業名）子育て相談・支援体制整備事業

子育てに関する総合的な支援の中核施設である飯田市こども家庭応援センターゆいきっずでは、子どもの発達、児童虐待予防や抑止に関する機能のほか、特別な教育的配慮が必要な子どもの就学相談等の機能を有し、相談内容に沿った対応により迅速に体制を整え支援に努めた。 相談対応1,205件（児童養護、子育て、発達、教育相談）

◎（事業名）教育・保育事業

幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供を受けるため、1号認定（3歳以上の教育ニーズ）及び2号認定（3歳以上の保育ニーズ）の児童は、希望する認定こども園及び希望する住所地の保育所等に入所できている。なお3号認定（3歳未満保育ニーズ）の児童についても入所できているが第1希望の施設に入所できていない場合がある。

◎（事業名）地域子育て支援拠点事業

社会からの孤立感や子育ての行き詰まりの防止、情報交換や育児相談の場、育児に対する学びの場として日常的に集う子育ての地域拠点事業で市内12カ所にて運営。子育てアドバイザーのスキルアップのため情報共有や研修会を定期開催している。座光寺つどいのひろばは指定管理者制度を導入し3年目適切な施設管理がされている。利用者のニーズに沿った運営や地元団体とのつながりがなされている。

【取り巻く状況の変化等】

□ 幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保のため、開所時間の延長や未満児保育のない地域において、地域型保育事業などについての学習会を実施し地域と一体となって検討を開始した。

□ 18歳未満の子どもを持つ家庭からの相談増加により、子育て不安や養育が困難な家庭に対しての養育支援家庭訪問、一時的に養育する短期支援が増加傾向にある。様々な支援ニーズがあるため早い段階から社会資源と結びつき、保護者と支援者が信頼関係に基づき子育てを協働することが重要である。

基本目標2

子どもの発達と親子の健康の確保及び増進
～子どもの発達と親子の健康を支えるまちづくり～

施策番号	施策の方向性	施策としての到達度（外部要因も含めた総合的な評価）目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	一貫した発達支援体制の整備	□	■	□	□
②	食育活動の推進	□	■	□	□
③	子どもの医療費助成の拡充	■	□	□	□
④	子育ての学び合いの推進	■	□	□	□

【主な事業内容】

◎（事業名）途切れのない発達支援体制整備事業

子ども子育ての相談に対し市の機関が連携して適切に対応できるよう保健、医療、福祉、教育の関係機関による発達相談支援体制協議会を開催し現状把握と課題を認識した。また特別な教育的配慮が必要な子どもに対する教育環境整備や保護者等に対し支援内容についての就学相談説明会を開催し教育支援について周知を行った。

◎（事業名）安心して出産できる体制づくり事業

妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援を行うため、平成30年4月から母子保健コーディネーター（保健師）を配置。母子健康手帳交付時に面接と相談を行い全妊婦の状況を継続的に把握し必要に応じて支援を実施した。また周産期センターとも連携し安心して出産を迎えられる体制を整えた。出産されたお母さんと赤ちゃんがスムーズに新生活が送れるよう心身のケアや育児サポートが受けられる宿泊型の産後ケア事業を開始した。

【取り巻く状況の変化等】

□ 産後間もない時期の産後うつの予防、産後の環境の変化などさまざまな要因から生じる新生児への虐待予防を図るため、母子に対する支援体制を整備する検討を行った。健診内容、回数等について実施医療機関との調整が整ったことから平成30年10月から実施し572件の利用があった。

平成30年度子育て応援プラン実施状況

基本目標3

子どもが健やかに成長するための環境整備
～子どもの育ちを支える教育・健全育成のまちづくり～

施策番号	施策の方向性	施策としての到達度（外部要因も含めた総合的な評価） 目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	放課後子どもプラン推進事業の拡充	■	□	□	□
②	子どもの「居場所づくり」の推進	■	□	□	□
③	地域力による子育ちの応援の推進	□	■	□	□

【主な事業内容】

◎（事業名）放課後子どもプラン推進事業

放課後子ども教室は、丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺の5カ所において引き続き実施し、体験学習や地域住民との交流を行った。事業に係わる地域の大人の子育て意識の醸成に努めた。放課後児童クラブの開所時刻を18時30分まで延長したことにより利用者ニーズに沿った運営が行われた。（一部地域を除く）

◎（事業名）地育力向上連携システム推進事業

飯田型キャリア教育・LG飯田教育・小中一貫したキャリア教育指導計画の策定等のため、19小学校9中学校の担当者を対象とした研修会が公民館主事同席により開催された。これにより公民館（地域）との人的つながりができ、地域資源を活かした「ふるさと学習」の推進に連携のある進展が見られた。

【取り巻く状況の変化等】

□　子どもや親子を対象とした長期休業期間中（夏休み・春休み）の自然体験学習や寺子屋など地域での居場所づくりについて一部の地域では実施されているが、夏休みが更に長期化することで地域での受け入れが困難になることが予想される。地域の拠点における子どもの居場所づくりの早期検討実施が必要になる。

基本目標4

仕事と家庭生活の両立の推進
～子育てと仕事の両立を支えるまちづくり～

施策番号	施策の方向性	施策としての到達度（外部要因も含めた総合的な評価） 目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	親の働きやすい環境づくりの推進	■	□	□	□
②	仕事と家庭生活の調和を図る「ワークライフバランス」の推進	■	□	□	□

【主な事業内容】

◎（事業名）子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の疾病や仕事等により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、乳児院や児童養護施設で一定期間子どもを預かり養育保護を実施した。保護者の育児疲労によりきょうだいでの預かりや緊急のため当日預かるケースもあり施設側の職員体制の苦慮もあった。（利用者数128名）

◎（事業名）ワーク・ライフ・バランス推進事業

仕事と家庭を両立しワークライフバランスを推進するためには、家庭・事業所・行政が一体となって取り組むことが必要である。仕事や家庭での充実はまだ十分とは言えないため、経営者向け一般向けのセミナーを開催し、それぞれの課題を認識した。事業に取り組む事業所に対して表彰を行い他の事業所への啓発を実施した。

基本目標5

地域のみんなで支えあう子育ち・子育ての推進
～子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり～

施策番号	施策の方向性	施策としての到達度（外部要因も含めた総合的な評価） 目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	地域のみんなで支えあう子育ち・子育ての推進	■	□	□	□
②	地域の連携による子育ち応援の推進	□	■	□	□
③	安全安心のまちづくりの推進	■	□	□	□

【主な事業内容】

◎（事業名）地域の子育て応援情報発信事業

子育て家庭が気軽に子育て応援情報を入手でき子育てが孤立しない環境づくりを進めるため、いいだ子育てネットをスマートフォンで閲覧できるよう改修した。改修では子育て応援サポーターや子育て世帯のアンケートを基に検討を重ね、わかりやすい発信を心掛け継続実施した。